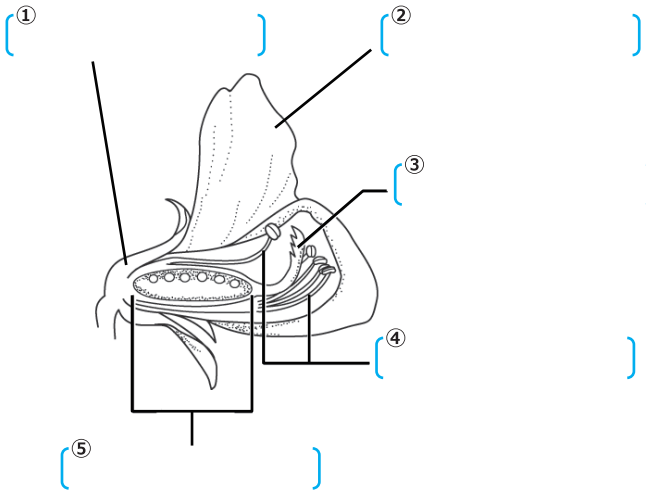
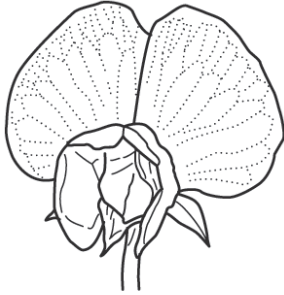


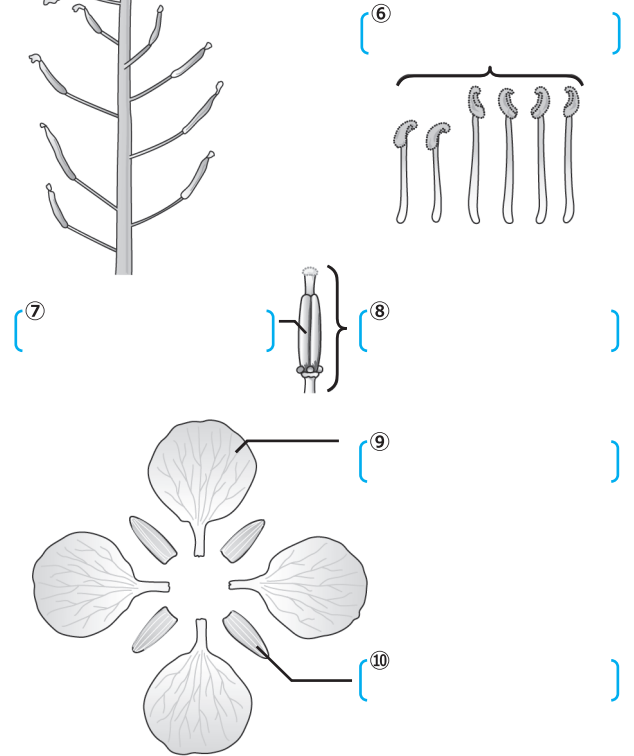
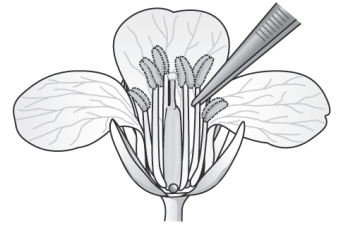
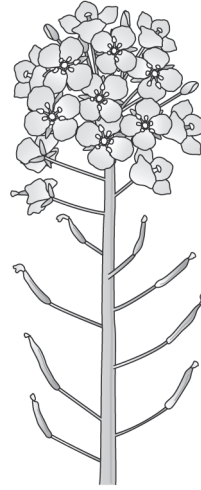
花のつくりと働き (1)

【1】次の図は花を構成している様々な部位である。それぞれの名称を答えなさい。

■エンドウ



■アブラナ



【2】次の文章は花のつくりについて説明したものである。

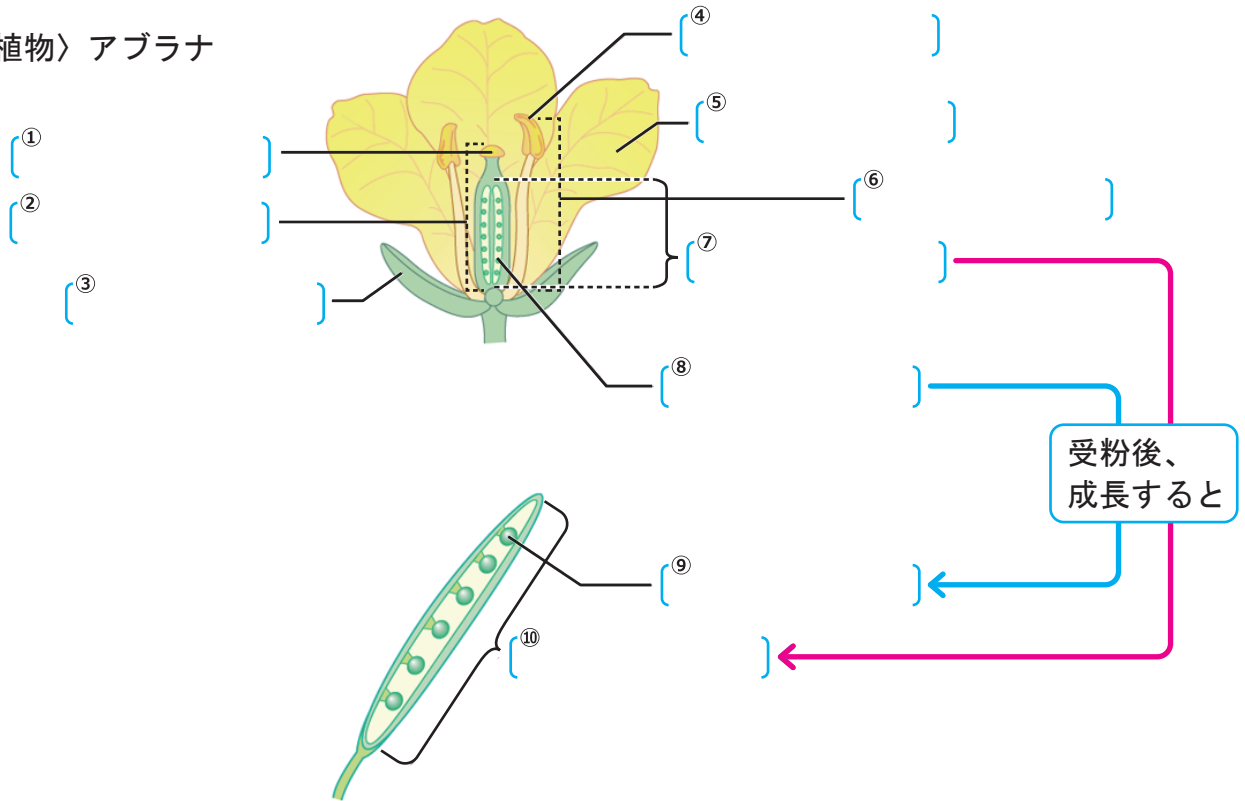
() に当てはまる言葉を書きなさい。

- (1) 花のつくりは、外側から順に、() → ^{かべん}花弁 → ()
→ めしべ の順についているものが多い。
- (2) めしべのまわりにあって、花粉をつくるのは () である。
- (3) おしべの先にあるふくろを () といい、ここに () が
入っている。
- (4) めしべの先を () といい、花粉が付きやすくなっている。
- (5) めしべの根元のふくらんだ部分を () といい、この中にはいずれ種子と
なる () が入っている。
- (6) 胚珠はいしゆが子房しぼうでつまれている植物を () 植物という。

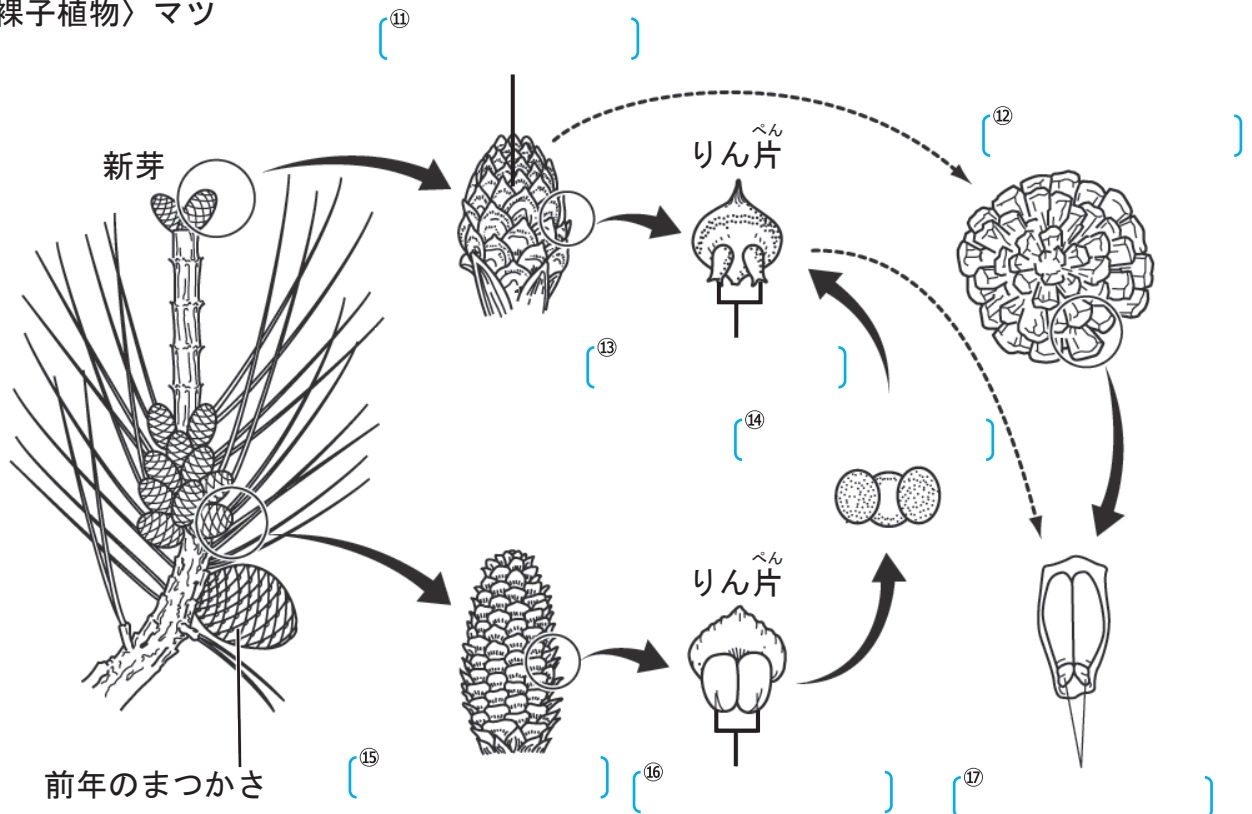
花のつくりと働き (2)

【1】 次の図は被子植物と裸子植物の受粉の様子を表している。
 () に当てはまる言葉を書きなさい。

〈被子植物〉 アブラナ



〈裸子植物〉 マツ



花のつくりと働き (3)

【1】次の文章の（ ）に当てはまる言葉を書きなさい。

- (1) マツの花のうち、（ ）は枝の先につき、（ ）は根元の方につく。
- (2) マツの花は、魚のうろこに似た（ ）がたくさん集まってできている。
- (3) マツの雌花のりん片には（ ）がついていて、子房はない。
- (4) マツの雄花のりん片には（ ）があり、この中に花粉が入っている。
- (5) マツのように、胚珠がむき出しになっている植物を（ ）植物という。
- (6) マツの花粉のうは被子植物の（ ）と同じはたらきをしている。
- (7) 裸子植物には子房がないので（ ）ができない。

【2】次の文章の（ ）に当てはまる言葉を書きなさい。

- (1) 花をつけて種子をつくる植物を（ ）植物という。
- (2) 花粉をめしべに届けるために花はいろいろな工夫をする。たとえば、色あざやかな花弁やにおいを放つものは、（ ）や鳥をひきつけようとしている。
一方で虫や動物に頼らず（ ）に花粉を運んでもらう花もある。
毎年、多くの人が花粉症でなやまされるのは、こうした花たちが大量の花粉を空気中にまきちらしているからである。
- (3) おしべでつくられた花粉が、めしべの柱頭につくことを（ ）という。
- (4) 被子植物が受粉すると、子房は成長して（ ）になり、
胚珠は（ ）になる。

【3】次の植物は、それぞれ被子植物と裸子植物のどちらか答えなさい。

イチヨウ さくら タンポポ エンドウ マツ スギ アブラナ ソテツ ツツジ

被子植物（ ）

裸子植物（ ）